



平成 30 年 8 月 8 日
株式会社シノケングループ
代表取締役社長 篠原 英明
(東証 J A S D A Q ・ 8 9 0 9)

平成 30 年 12 月期 第 2 四半期決算短信（連結）参考資料

TOPICS

■売上高 585 億 40 百万円、経常利益 62 億 12 百万円

⇒第 2 四半期連結累計期間として過去最高の実績、9 期連続の増収増益を達成

■不動産販売事業（アパート販売、マンション販売）が好調

⇒売上高 425 億 69 百万円（前年同期比 116.4%）

⇒アパート販売（引渡し）は過去最高の実績

⇒マンション販売（引渡し）は前年同期を上回る実績

1. 平成 30 年 12 月期第 2 四半期連結業績

当第 2 四半期連結累計期間は、主力事業である不動産販売事業において、販売状況が順調に推移したこと、また、不動産管理関連、ゼネコン、エネルギー、介護、その他の各事業についても概ね順調に推移したこと等により、売上高 585 億 40 百万円（前年同期比 18.5% 増加）、営業利益 68 億 13 百万円（前年同期比 5.9% 増加）、経常利益 62 億 12 百万円（前年同期比 3.1% 増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益 42 億 7 百万円（前年同期比 2.5% 増加）となり、第 2 四半期の売上高と各利益で過去最高の実績を達成いたしました。

（1）前年対比

（単位：百万円）

	平成 29 年 12 月期 第 2 四半期	平成 30 年 12 月期 第 2 四半期	対前年同期 比率
売上高	49,386	58,540	118.5%
営業利益	6,430	6,813	105.9%
経常利益	6,021	6,212	103.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,103	4,207	102.5%

（2）業績予想対比

（単位：百万円）

	平成 30 年 2 月 14 日発表 第 2 四半期累計 連結業績予想	平成 30 年 12 月期 第 2 四半期累計 連結業績	対業績予想 達成率
売上高	57,000	58,540	102.7%
営業利益	6,500	6,813	104.8%
経常利益	6,200	6,212	100.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,300	4,207	97.8%

2. 連結貸借対照表の概況

当第2四半期連結会計期間末の連結貸借対照表の概況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (平成30年6月30日)	対前期末増減額
現金及び預金	23,502	29,171	5,668
受取手形・完成工事未収入金	5,324	5,167	△156
販売用不動産	28,631	30,525	1,894
不動産事業支出金	19,285	16,797	△2,488
有形固定資産	6,881	7,184	302
のれん	1,128	980	△148
資産合計	90,972	95,750	4,778
不動産事業未払金	4,868	5,641	772
工事未払金	3,035	2,670	△365
短期借入金	23,611	26,633	3,022
長期借入金	22,400	20,791	△1,608
負債合計	64,582	65,457	875
純資産	26,390	30,293	3,903
負債純資産合計	90,972	95,750	4,778
自己資本比率	29.0%	31.4%	2.4pt

3. セグメント別業績の概況

当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績の概況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント	科目/期別	平成29年12月期 第2四半期	平成30年12月期 第2四半期	対前年同期増減額
不動産販売 事業	売上高	36,567	42,569	6,001
	セグメント利益	5,599	5,233	△366
不動産管理関連 事業	売上高	5,009	6,356	1,347
	セグメント利益	775	1,273	497
ゼネコン事業	売上高	6,530	7,860	1,329
	セグメント利益	718	760	42
エネルギー 事業	売上高	617	973	356
	セグメント利益	127	262	134
介護事業	売上高	586	698	112
	セグメント利益	24	86	61
その他(海外等)	売上高	74	82	7
	セグメント利益	95	122	26
連結	売上高	49,386	58,540	9,154
	セグメント利益	6,430	6,813	383

※調整額の表示は省略しております。不動産販売事業の利益の変動は、マンション販売において、前期には異例な土地のみの分譲取引を行いました但当期にはそれを見込んでいないこと、及びグループ内取引の見直しを行い、前期まで計上していたグループ内からの手数料収入を当期から無くしたこと等が要因です。

4. 不動産販売事業における販売実績

当第2四半期連結累計期間における不動産販売事業の契約実績、販売（引渡し）実績及び契約残高は、以下のとおりです。アパート販売は前年同期を上回る販売（引渡し）実績を達成しており、四半期別で過去最高の販売実績となっております。また、契約残高においても、金額・棟数ともに設立以来最高の数値を達成致しました。

マンション販売につきましては年間販売戸数を一定水準に保つ方針であり、計画通り順調に推移しております。

注)アパート販売は受注(契約)後に施工を行うため、受注から概ね6~8か月後の引渡しの際に売上計上となります。

① 受注（契約）実績

セグメントの名称	金額（百万円）	前年同期比
不動産販売事業	49,051	118.0%
アパート販売	39,231	117.5%
マンション販売	9,820	120.3%

② 販売（引渡し）実績

セグメントの名称	金額（百万円）	前年同期比
不動産販売事業	42,569	116.4%
アパート販売	33,799	124.3%
マンション販売	8,769	93.5%

③ 受注（契約）残高

セグメントの名称	金額（百万円）	前年同期比
不動産販売事業	64,304	108.7%
アパート販売	61,547	107.3%
マンション販売	2,757	154.4%

5. 今後の見通し

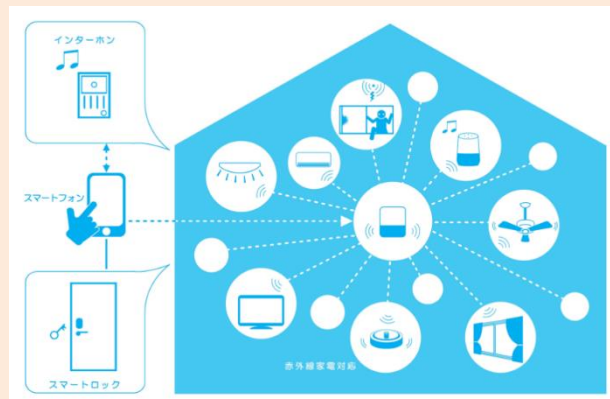
通期連結業績予想につきましては、アパート・マンションの販売状況及び建築工事の進捗等を精査した上で、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

6. 平成30年12月期第2四半期ニュースリリース（抜粋）

「Shinoken Smart Apartment」始動

IoT導入によるセキュリティ強化、利便性向上等、入居者様にとってより安心・快適な生活をお届けできるよう、1部屋単位で導入可能なIoTデバイス『Shinoken Smart Kit』の販売を開始。

当社グループにて販売する投資用アパート「ハーモニーテラス」シリーズはもちろん、30,000戸を超える既存賃貸管理物件へも、オーナー様のご希望を踏まえ、順次導入していくことで、新たな「スマートアパート」を用いた「価値ある資産づくり」をさらに推進。



民泊対応型アパートの第2号案件の開発に着手

昨今の民泊需要の高まりと、民泊新法の施行による法整備を見据えた取り組みの一環として、従来より培ってきた物件確保体制に加え、既に当社グループで開発し運用を行っている民泊対応型投資物件に関連する経験を活かし、更に事業を拡大するためのプロジェクトとして、大阪市において民泊対応型アパートの第2号案件の開発に着手。

今後、ますますノウハウの蓄積を図り、民泊需要の高い東京、関西、福岡を中心に引き続き注力。



外観完成予想図

以上

<<本リリースに関するお問い合わせ先>>
株式会社シノケングループ IR室
TEL：092-714-0040